

平成28年度決算報告と町の財政状況

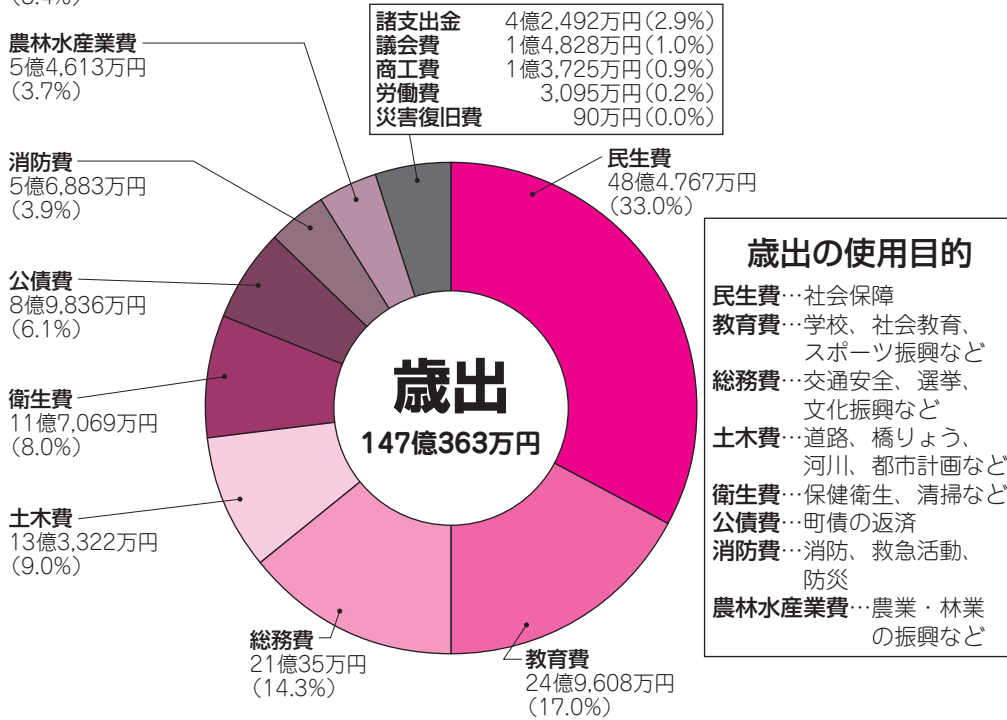
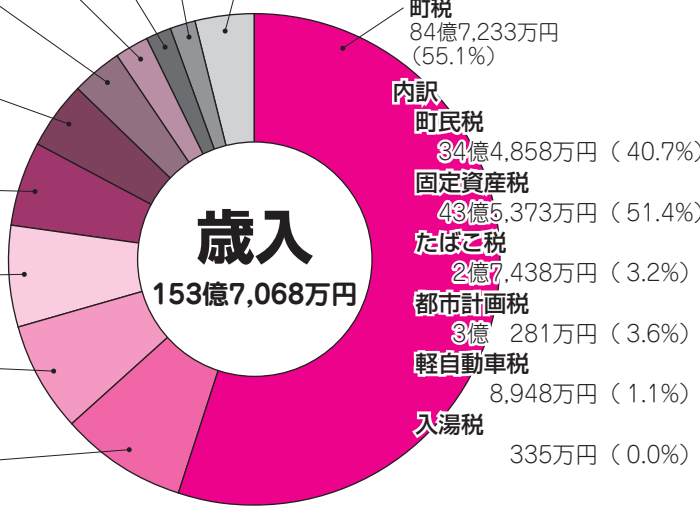
わが町のお金の使いみち

今年もわが町の台所事情をお知らせする時期が来ました。町がどのようにお金を使ったのか知っていただくため、町の決算状況を公

表します。詳細は、財政課までお問い合わせください。なお、町のホームページでもご覧いただけます。

一般会計

分担金及び負担金 2億4,103万円 (1.6%)	使用料及び手数料 2億3,206万円(1.5%)
町債 2億7,400万円 (1.8%)	地方譲与税 1億4,317万円(0.9%)
繰入金 3億4,074万円 (2.2%)	自動車取得税交付金 6,028万円(0.4%)
諸収入 4億9,609万円 (3.3%)	地方特例交付金 3,677万円(0.3%)
地方消費税交付金 7億1,026万円 (4.6%)	配当割交付金 3,224万円(0.2%)
県支出金 8億2,822万円 (5.4%)	地方交付税 2,062万円(0.1%)
繰越金 10億1,187万円 (6.6%)	ゴルフ場利用税交付金 1,961万円(0.1%)
寄附金 11億2,194万円 (7.3%)	株式等譲渡所得割交付金 1,676万円(0.1%)
国庫支出金 12億9,112万円 (8.4%)	財産収入 943万円(0.1%)
農林水産業費 5億4,613万円 (3.7%)	利子割交付金 683万円(0.0%)
消防費 5億6,883万円 (3.9%)	交通安全対策特別交付金 531万円(0.0%)
公債費 8億9,836万円 (6.1%)	
衛生費 11億7,069万円 (8.0%)	
土木費 13億3,322万円 (9.0%)	
総務費 21億35万円 (14.3%)	
教育費 24億9,608万円 (17.0%)	



歳出の使用目的

民生費…社会保障
 教育費…学校、社会教育、スポーツ振興など
 総務費…交通安全、選挙、文化振興など
 土木費…道路、橋りょう、河川、都市計画など
 衛生費…保健衛生、清掃など
 公債費…町債の返済
 消防費…消防、救急活動、防災
 農林水産業費…農業・林業の振興など

ほかにも7つの特別会計と一つの企業会計が設けられているんだ。特別会計は、特定の事業のために財布を分けて管理しているというイメージだね。企業会計は水道事業会計のことで、幸田町の水道事業はここで運営しているよ。限られた財源を生かしながら、幸田町では様々な事業が進められているんだよ。

歳入は去年と比べると9億9,657万円増えたよ。これは平成28年度から本格的に始まったふるさと納税の寄附金が増えたことと、税収が少し回復したことなどで歳入総額が増えたんだ。歳出も去年と比べて13億4,140万円増えたんだ。実施した主な事業は9ページで紹介しているから見てみてね。民生費は今年度も引き続き各種福祉サービスや中学校卒業までの子ども医療の無料化を行っているので増加となったよ。住みやすい町にするため、今後もしっかり取り組んでいくね。公債費だけ、昨年と比べると返済額も起債残高も減っているけど、借金の比率は愛知県内では高い方なんだ。

えいちゃんによる解説



決算状況

■決算状況

会計名		歳入(a)	伸び率	歳出(b)	伸び率	差額(a)-(b)	
一般会計		153億7,068万円	6.9%増	147億 363万円	10.0%増	6億6,705万円	
特別会計	土地取得特別会計	68万円	97.9%減	68万円	97.9%減	0万円	
	国民健康保険特別会計	37億7,110万円	1.5%増	36億5,255万円	1.2%増	1億1,855万円	
	後期高齢者医療特別会計	3億5,984万円	9.4%増	3億5,957万円	9.6%増	27万円	
	介護保険特別会計	17億3,427万円	7.4%増	16億4,222万円	5.1%増	9,205万円	
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	4億3,850万円	31.7%増	4億3,570万円	38.4%増	280万円	
	農業集落排水事業特別会計	3億6,104万円	6.0%増	3億5,205万円	6.2%増	899万円	
下水道事業特別会計	7億2,906万円	1.3%減	7億1,793万円	1.3%減	1,113万円		
企業会計	水道事業	収益的収支	7億7,540万円	0.9%増	6億2,582万円	0.8%減	1億4,958万円
(税抜き)	会計	資本的収支	1億3,407万円	2.7%減	3億9,768万円	3.4%増	▲2億6,361万円
総合計		236億7,464万円	5.6%増	228億8,783万円	7.2%増	7億8,681万円	

* 歳入には翌年度繰越明許費（事業財源分）一般会計3,687万円、幸田駅前土地区画整理事業特別会計280万円を含む

●都市計画税の使いみち

都市計画税は、都市計画事業などのための目的税で、下表の事業に充てられています。

事業名称	事業費	都市計画税からの充当額
都市計画総務事業	7,047万円	2,627万円
土地区画整理事業	3,725万円	84万円
街路事業	411万円	155万円
公園事業	6,714万円	2,300万円
幸田駅前土地区画整理事業	4億3,570万円	8,524万円
公共下水道事業	7億1,793万円	1億6,591万円
合計	13億3,260万円	3億 281万円

* 主に、下水道整備、幸田駅前区画整理、岩堀・六栗・里地区の土地区画整理事業などに充当

●入湯税の使いみち

入湯税は、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課されるもので観光の振興および観光施設の整備等に要する費用のための目的税で、下表の事業に充てられています。

事業名称	事業費	入湯税からの充当額
観光事業	600万円	335万円

* 主に、大井池、あじさい便所等観光施設運営などに充当

幸田町の家計簿

町の財政状況を分かりやすくするため、平成28年度の町の一般会計決算額を町の人口40,677人（平成29年3月31日現在の住民基本台帳人口）で割り、町民1人当たりの金額に換算して、家計で使う項目に例えてみました。

収入

給料（町税等）	29万3,175円
親からの援助（国・県支出金など）	7万7,961円
ローンで賄っている額（町債）	6,736円
合計	37万7,872円

家計と町の財政では、お金の使い方も規模も違うため単純に比べられないところもあるけれど、おおよそこのようになるよ。



支出

食費（人件費）	7万7,326円
医療費（扶助費）	4万9,204円
ローン返済（公債費）	2万2,085円
光熱水費（物件費）	7万1,319円
自宅の修繕（維持補修費）	5,692円
お祝い金、町内会費（補助費等）	3万9,142円
貯金（積立金）	1万8,092円
証券投資（貸付金）	2,213円
仕送り（繰出金）	3万6,124円
自宅の増改築（普通建設・災害復旧費）	4万 277円
来季に支払うお金（繰越明許）	906円
繰越金（実質収支）	1万5,492円

合計 37万7,872円

平成28年度決算に基づく 健全化判断比率・資金不足比率

1. 財政健全化判断比率

下表のとおり、いずれの指標についても早期健全化基準を下回っています。

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	13.63%
連結実質赤字比率	—	18.63%
実質公債費比率	6.5%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%

* 早期健全化基準…財政健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準以上の場合、財政状況はイエローカードである「早期健全化段階」となり、財政健全化計画を定めなければならない。

財政健全化判断比率の近隣市状況

市町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
幸田町	—	—	6.5%	—
岡崎市	—	—	▲1.4%	—
西尾市	—	—	2.9%	32.6%
蒲郡市	—	—	▲0.8%	—
県平均	—	—	2.8%	13.4%

* 全国の自治体の状況については、総務省のホームページをご覧ください。

(注) 健全化判断の指標は、数値が高いほど健全性が低く、逆に数値が低いほど健全性が高いと判断される指標で、▲は赤字や資金不足がなく、より健全であることを示しています。

2. 公営企業の資金不足比率

下表のとおり、資金不足を生じた公営企業はありません。

	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%
下水道事業特別会計	—	20.0%
水道事業会計	—	20.0%

* 経営健全化基準…各公営企業の資金不足額の、事業の規模に対する比率であり、経営健全化基準(20%)以上となった場合には、経営健全化計画を定めなければならない。

「— (バー)」で表示されている項目は、黒字のため数値が計上されていません。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成28年度決算に基づく健全化判断比率および公営企業の資金不足比率を公表します。

指標で見る財政情報

経常収支比率

経常的・義務的経費に
充てる割合
70～90%…適正
90%以上…要注意

28年度…84.8%



27年度…80.4%

26年度…82.0%

実質公債費率

借金の一般財源に
占める割合
10%以下…望ましい

28年度…6.5%



27年度…7.3%

26年度…7.7%

財政力指数

財政上の力を示す指数
指数が1以上の団体は
財政力の強い団体とい
える

28年度…1.06%



27年度…1.25%

26年度…1.22%

この数値が基準を一つでも超えてしまつと、財政健全化計画を作成しないといけなくなるんだよ。幸田町はどの指標も基準をクリアしているよ。今後、健全財政を心掛けていくね。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成28年度決算に基づく健全化判断比率および公営企業の資金不足比率を公表します。

えこたんによる解説



決算審査報告

幸田町監査委員

山下 大蔵 弘

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正であると認められた。

◎一般会計・特別会計

一般会計と各特別会計の決算総額は、前年度と比較し、歳入・歳出のおおの増加となった。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、実質収支は赤字であったが、単年度収支は赤字となった。町税などの未収金は、若干減少しているものの、未納者に対しては、個別のケースに応じたきめ細やかな対応を継続する一方で厳正な措置も必要である。また、主要な財政指標では、公債費比率は年々着実に減少しているが、経常収支比率は改善を必要とされる。今後とも計画的な起債に留意するとともに、経費の節減と事業の効率化に努められたい。

◎水道事業会計

水道事業会計は、前年度と比較し、年間総配水量および年間総有収水量ともに増加している。総収益および最終純利益はおおの増加している。引き続き清浄で安価な水の供給に向け、施設の耐震対策・ライフライン機能強化・サービスの向上を含めた総合的な事業の取り組みが必要と考える。

◎総評

平成28年度決算では、法人町民税などが増加し、町税および歳入全体でも前年度を上回る増収となり、財政指標の健全化率は、健全な数値と判断することができた。しかし、今後は法人住民税の一部国税化の問題など行財政運営は予断を許さない状況が続くものと考えられる。健全な行財政運営を念頭に、事務事業の見直しや改善を推し進めさらなる住民福祉の向上と持続可能なまちづくりにまい進されることを望むものである。

(平成28年度決算審査意見から)

平成28年度に実施した主な事業

多世代の皆さまが生き生きできるまちを目指し、さまざまな事業を実施しました。その一部をご紹介します。



認定こども園支援事業



幸田小学校校舎増築工事



老人福祉センターエレベーター改修工事



消防団第2分団詰所建設工事



永野公園整備事業（トイレ整備）



学校給食用PEN樹脂製食器購入

問合せ 財政課 財政グループ ☎62-1111（内線353）FAX63-5139